



朝の健康チェックを行う実習生の皆さん。毎朝行うことで、健康管理への意識が高まります。

あじけん通信

2012 October
VOL.58

株式会社ティビィシィ国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

10月に入り、長く暑かった夏が終わり、秋の気配が感じられるようになって来ました。毎年この時期になると、「かぜ」「ねつ」と言う言葉を耳にする機会が増えてきます。そこで大切になってくるのが、実習生の皆さんの健康面での「自己管理能力」となります。これは、安全かつ円滑に技能実習を行う上でも、必要不可欠な能力でもあります。アジ研では、毎朝行っている「健康チェック」の時間を通して、①「十分な睡眠時間」②「バランスの取れた食事」③「適度な運動」の3つの習慣化に取り組み、実習生の皆さんが充実した日本語講習・技能実習に取り組めるようサポートしています。

あじけんスコープ VOL.3



アジ研には、生活習慣の異なる様々な国から来た実習生の皆さんが、円滑に集団生活を送るため、また、不慣れな日本で安全に生活できるように、いくつかの約束事を設けています。これらの規則は、入寮直後のオリエンテーションの時に、「生活指導」として、実習生の母国語を用いて行なわれます。また、規則の徹底を図るために、日本語での指導も日常的に行なわれています。実習生の皆さんにとって、高い規範意識を身に付けることは、これから始まる技能実習においても必ず役立つものと信じ、講師・スタッフ一同、「わずかな違反も許さない」厳しい態度で、指導に当たっています。

① センター・寮内の喫煙制限

研修センター・寮内での喫煙は厳しく制限されており、実習生の皆さんがタバコを吸えるのは、中庭に設けられた喫煙所のみとなっています。愛煙家の実習生の皆さんも多いのですが、タバコの火の不始末から火事になることもあるので、タバコは、必ず「きつえんじょ」で吸うように厳守してもらっています。

② 門限の厳守（平日PM8:00・週末PM6:00）

母国とは交通ルールが異なる日本での夜間の外出は、特に危険を伴います。その為、少し厳しいようですが、門限の設定は、早めになっています。抜き打ちで、センターのスタッフによる人員チェックも行われます。門限を破った実習生には、「今後は必ず門限を守ります」と言った内容の誓約書にサインをしてもらい、それでも門限が守れなかった場合は、受入団体様の方々へ、現状報告をさせて頂く事になっています。



生活指導の様子

今月の実習生



向かって左から、劉偉さん・李盛威さん・朱鳳宇さん

今月は、中国からの実習生、劉偉さん・李盛威さん・朱鳳宇さんを紹介します。

3人は自らの健康管理・体力維持のため週末には欠かさず、ジョギングをしています。

ジョギングコースは、近くにある運動公園までの片道約3キロ（約45分）。平日は、日本語の勉強で忙しいので、ジョギングは週末だけ。その代わりに、寮の部屋でも出来る腕立て・腹筋等の筋トレは毎日欠かさず行っているそうです。

あじけん流日本語授業

レベルチェックテストを受ける実習生の皆さん

今月のあじけん流日本語授業は、講習初日に行なわれている「レベルチェックテスト」について、ご紹介します。

このテストは、リスニングテスト・筆記テストの2部構成。出題内容は、基本単語の意味用法、動詞・形容詞の語尾活用（筆記のみ）、簡単な日本語での質問を聞いたり、読んだりして答える形式の応用問題と、広範囲にわたっており、様々な角度から実習生の皆さんの講習開始時の日本語力を測定します。テスト結果は、日本語講習の進度や指導内容を決める上で大切な基礎資料として活用されます。

昨年1年間の受講生の平均得点は、リスニングテストが**51.3点**・筆記テストが**52.5点**と、事前学習の定着度は、どちらもやや低めなのが現状です。講習修了時に出させて頂いている「日本語教育報告書」をご覧になられる際の参考資料にいただければ幸いです。また、母国での日本語学習期間に差があるため、「どの国の実習生が日本語が出来る」と、一概には判断できませんが、参考までに受講生の国別平均得点もご紹介します。

※ なお、来日前の日本語学習が1~2年間半に及ぶ、インターンシップによるホテル実習生の得点は、基礎データから除いて平均得点を算出しています。



レベルチェックテスト国別平均得点

